



公明党 池上 茂樹 議員

- 1 新型インフルエンザ対応について
 - (1) 聴覚障害者の対応について
 - 2 校庭の芝生化について

質問1(1) 発熱相談センターには、電話しかないが聴覚障がい者への配慮は。チラシ・メール等での周知を考えているのか。

答弁1(1) 当初、発熱相談センターには、電話番号の案内しかなかった。現在FAXも設置し、聴覚障がい者用FAX相談用紙も作成した。メールも含めチラシ等で周知していく。

質問1(2) 新型インフルエンザの場合、本市に登録されている手話通訳者に派遣要請をするのか。

答弁1(2) 新型インフルエンザの場合には、登録通訳者には派遣要請をせずに、障がい福祉課の手話通訳

者に防護服やマスク等の準備をして対応する。

質問2(1) 校庭を芝生にすることで、子どもたちの体力が向上する。外で遊ぶ子どもが増えいじめがなくなった等、効果が出ているが芝生化の取り組みは。



鳥取方式による芝生化(朝明高校)

答弁2(1) 今後、多くの課題を整理し考える。

質問2(2) 安価で維持管理も容易で、地域の支援を活用する鳥取方式の芝生化事業があるが、本市が鳥取方式を取り入れる考えはあるのか。

答弁2(2) 初期投資における経費の削減や、学校と地域が一体となったボランティア活動による管理体制の整備について研究を続け、校庭の芝生化を検討していく。



市政研究会 市川 哲夫 議員

- 1 健全財政への取組について
- 2 母子家庭と父子家庭について

質問1 国の経済対策に対する対応や、市債の現状は。また、安定財政運営における市の考え方と具体策は。

答弁1 国の補正予算に計上の施策と歩調を合わせ、本市の実情に沿った事業を精査した上で、積極的に対応していきたい。できる限り、新規借入額を元金償還額以内に抑制するという方針を堅持して、市債を財源として充当することが可能な事業については、災害復旧事業や大規模な施設の建設事業など一定の制限があるが、事業の内容等を精査の上適正な起債に努めて、健全な財政運営に努めたい。

質問2 男女共同参画基本法の制定等社会情勢の変化がある中で母子家庭及び父子家庭の行政支援の現状は。父子手当の創設についてはどのように考えるか。

答弁2 本市では母子家庭世帯が1,217世帯、父子家庭が164世帯である。母子家庭への支援の状況は母子及び寡婦福祉貸付事業や母子家庭自立支援給付金事業などがあり利用されている。父子家庭へは一人親家庭等医療費助成制度がありその利用がされている。鈴鹿市独自の父子手当の創設は、児童扶養手当法で父親のいない家庭のみが支給対象となっているため、現在のところ考えてはいないが国に対し要望したい。



政友会 今井 俊郎 議員

- 1 新たな財源の確保に向けて
- 2 シティセールスについて
- 3 相撲部屋誘致について

質問1 市の財産を広告媒体として利用し掲載料を財源として取得するのがスタートした。今後もさらなる財源確保が必要だがどう考えているのか。

答弁1 市のHPのバナー広告、Cバスの車内、後部への企業広告等、市民課窓口封筒について企業の広告を掲載し自主財源を得ている。来年度には広報すずかへの広告掲載も現在検討中であり、今後も、他の広告媒体の活用を検討したい。



市ホームページ

質問2 新しいシティセールス特命大使の任命を検討すべきでは。

答弁2 来年度に3名以上の増員を目標に委嘱を検討中である。

質問3 大相撲名古屋場所での相撲部屋誘致が民間レベルで進んでいるが、新しいシティセールスとしての考えは。

答弁3 一流アスリートの競技が身近に見られる環境が増えることは、本市としても歓迎したいと思う。



市武道館の相撲場